

すぎのこつうしん

平成 26 年 7 月号

古川東町カトリック保育園

「ルールを守る心を育みましょう」

今年は一週間も早い梅雨入りで、しかも冷夏になるのではという予想ですが、子ども達は汗だくで走り回り、水を見ればシャベルや皿を持って来て、泥んこ遊びに発展。水遊びが大好きな子ども達です。プールが設置されるのを待ちわびているようです。

泥んこ遊びや水遊びでも何をしても生活していく中にはルールがあります。ルールは社会生活を円滑にするものです。国で決められている法律、良心に従って守る秩序、約束。法律はもちろんですが、良心に従うという決まりは、大人が子どもに知らせていかなければならないものです。子どもが誕生するとすくから、親の姿を子どもは見えています。親がルールを違反すれば、子どもも真似をします。自分くらい守らなくても平気だという心を皆が持ったらどうでしょう。この世の中は、殺伐としたものになってしまうでしょう。

『たいへんな時でもきちんと秩序を守る』という日本人の良さを発揮したいものです。日本人は自分もたいへんな時、相手のたいへんさも考えられる思いやりの気持ちを持っているから、良心に従って生きていけるのだと思います。とても誇らしいことです。

最近、子ども達の様子を見ていると、自分の思いどおりにならないと、自分の中で折り合いをつけることが出来ず、この辺で言う「むづける」行為をとったり、物にあたってみたりという行為をすることが多くなっていることが心配になります。うまく自分の気持ちを表現できないので黙り込んで物や人にあたったりするのではと思います。してはいけないことをしてしまった自分を自分自身で納得できずこいるためではないでしょうか。自分で「こうだから、こうなんだ」と納得できるよう、悪い事をした時には、きちんと教えることが必要だと思います。あれこれ説明しようとしたずらに引き伸ばさず、ピシッと叱る。落ち着いたら、子どもの話を聞き、何故いけないのかを簡潔に話す。良い事をした時は、心に届くよう心の底からほめる。

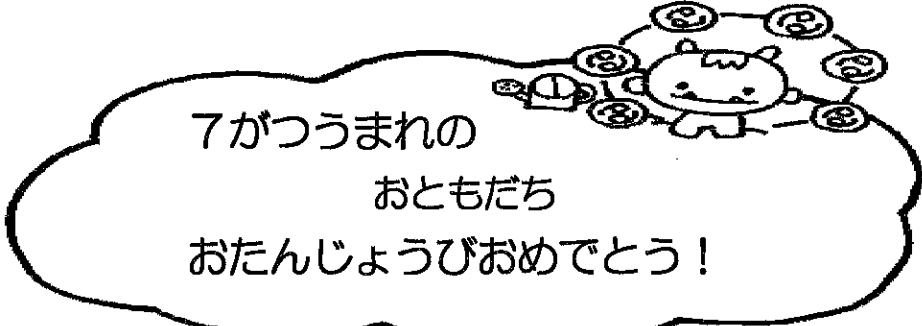
そしてなにより大人が良心に従った行動をとってこそ、子ども達はルールを守る心を育んでいけることだろうと思います。

〈 園長 平野 義子 記 〉

今月の行事予定

- 2日(水) 0~2歳児保育参観 3日 静修の日
- 4日(金) 七夕まつり会
- 5日(土) ~6日(日) 4, 5歳児お泊り会
- 7日(月) 交通安全教室
- 25日(金) 誕生会 ?日 避難訓練

※7/7~8/5まで 保育実習生が来ます。よろしくお願ひします。



7がつうまれの おともだち おたんじょうびおめでとう!

お父さんお母さんから

ばんひ組からお世話になり、あっという間にもうひつじ組。

入園当初、家でも昼寝の時には、泣いて暴れて寝かしつけることができなかつたので、保育園ではいったいどうやって昼寝をさせているのか不思議に思い、先生に尋ねたところ「こちら家ではいったいどうやって昼寝をさせているのかお母さんに聞こうと思っていました!」と言われ先生と一緒に笑ったことがつい最近のように思い出せます。小さい頃からとても体力があり、いつも元気いっぱいのお。自分の思い通りにいかない時は、30分以上も泣きわめいて暴れ続けるので、保育園では先生方にどれだけ迷惑をかけていることだろう...と心配したこともありましたが、保育園ではしっかりと(ちゃっかりと?) おりこうさんを演じていたようです(笑)

保育園生活も残すところあと9か月。いまだに家では傍若無人ぶりを発揮している時もありますが、来春無事に1年生になれるよう、集団生活の中で身につけるべきことを残された時間の中で、しっかりと学んで欲しいと思います。

<ひつじ組 OO OOちゃんのお母さん>



『ルールを守る心を育みましょう』

私達が生活していく中でたくさんのルールがあります。ルールを守ることで周りの人から信頼されたり、相手を思いやる心が育つと思います。また、自分自身もルールを守ることで楽しく過ごせるのではないのでしょうか。逆にルールを破ると、信頼を失ったり、罪悪感に襲われ自分自身が辛い思いをしてしまいます。

子ども達が園庭で遊んでいると「1、2、3、...9、10!かして!」「いいよ」と言ってブランコを交代したり、鬼ごっこをして楽しんで遊んでる姿が見られます。遊びの中にルールがあることを知り、ルールを守って遊んでいる子ども達です。しかし、時々ルールを守れずトラブルなることも...。子ども達が生活や遊びの中にルールがあることを知るためには友達や家族、保育士との関わりがあります。その中でも大人の私達がルールを知らせることが多いと思います。子ども達にルールを知らせている私達はきちんと守れているのか?改めて考えさせられました。ルールを守れなかったこともありますよね...?でもそれも、大切な経験だと思います。なぜならルールを守る大切さを学べるからです。ただ言葉で伝えるのではなく、私達自身がお手本となってルールを守る大切さを知らせていき、守った時には褒め、ルールを守る心を育んでいきたいと思っています。

<ひよこ組担任 林 知代>

クラスだより

ばんび組 (0歳児)

〈ねらい〉

- ◎生活の中で決まりがあることを知る。
- ◎一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、体調や気温に配慮し、健康的に過ごす。

〈家庭連携〉

- ・生活する中で良い事といけない事があることを知らせていきましょう。
- ・暑くなってくると、体調を崩しやすくなります。汗を流したり、十分に水分、栄養が摂れるようにし、ご家庭でもゆっくりと過ごせるようにしてください。

ひよこ組 (1歳児)

〈ねらい〉

- ◎生活の中でルールがあることを知る。
- ◎苦手な物も食べてみようとする。

〈家庭連携〉

- ・家庭でも約束事を決め、良い事と悪い事があることを知らせていきましょう。約束事を守れた時には褒めてあげてください。
- ・おいしそうに食べる姿を見せて、食べてみようと思えるようにしましょう。少量でも食べた時には褒め、食べられた！と達成感が味わえるようにしましょう



ことり組 (2歳児)

〈ねらい〉

- ◎生活や遊びの中にルールがあることを知り、守ろうとする。
- ◎夏の遊びを楽しむ。

〈家庭連携〉

- ・家庭でもルールがあることを知らせ、少しずつ守れるように知らせていきましょう。
- ・疲れが出てくるので、家庭でも十分な休息をとり、朝ご飯をしっかりと食べることで夏の遊びを楽しめるようにしましょう。
- ・水着やタオル等の持ち物には必ず名前を記入して下さい。



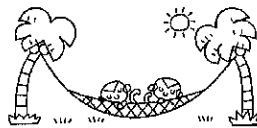
こねこ組 (3歳児)

〈ねらい〉

- ◎約束を守り友だちと気持ち良く過ごす。
- ◎夏の生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でしようとする。

〈家庭連携〉

- ・生活の中で約束事を知らせていき、守れた時は大いに褒めてあげましょう。
- ・夏の暑さや水遊びなどで疲れやすいので、十分な休息をとり、体調管理に努めましょう。



うさぎ組 (4歳児)

〈ねらい〉

- ◎人との関わりの中で約束の大切さに気付く。
- ◎子ども同士の遊びを豊かにし、友達との関係の中で徐々に自己を発揮できるようになる。

〈家庭連携〉

- ・約束を守ることの大切さを人との関わりの中で気付けるように知らせていきましょう。
- ・お子さんの話に耳を傾け、自分の気持ちを伝えられるように働き掛けていきましょう。

ひつじ組 (5歳児)

〈ねらい〉

- ◎生活や遊びの中で約束を守る大切さに気付き、進んで守ろうとする。
- ◎夏の遊びを伸び伸び楽しむ。

〈家庭連携〉

- ・約束事に自ら気付いた時、守れた時は十分に褒めて、約束事を守る大切さを伝えていきましょう。
- ・暑い日は水遊びを行います。疲れやすくなりますので、十分に休息をとりましょう。



◎給食室より

食事中、最低限のマナーを守れないと、一緒に食卓を囲む相手や作ってくれた人に対して失礼ですよね。また、恥ずかしい思いをする事もあります。1日に3度食事を食べる機会がありますので、最低限、人を不快にさせないマナーを身に付けておくといいですね。保育園でも姿勢や箸の持ち方、食べ方について、その都度お話しています。ご家庭でもマナーについての大切さをもう一度考えてみてくださいと思います。

♪今月の童謡♪

『水あそび』

みずをたくさんくんできて
みずでっぼうであそびましょ
1、2、3、4、
シュッ!シュッ!シュッ!



☆今月の聖歌☆

『希望の灯 (あかり)』

わたしたちは主において ひとつ
わたしたちは主において ひとつ
耳をすませば 遥か彼方より 立ちて
歩めと主の声がする
イエスはいつでも 共にいるから 信じて歩めば 希望の灯が
Agnus(アーニユス) De-i(デーイ)
主の名において働くもの do-na(ドーナ) nobis(ノービス)
主とともにその実りあじわう
Agnus(アーニユス) De-i(デーイ)
信じて歩めば do-na(ドーナ) Pa-tem(パーチエム)
実りはゆたかに





あなたの一分間拝借!

2014年7月1日

7月の心の教育目標は、ルール、約束事を尊重する心の育成に力を尽くすこととしております。ルールには先ず、人と人との関わりを秩序づけるものもあれば、絶対者である神と人の関わりを秩序づけものもあることに心の目を向けていただきたいと思ひます。前者は、家庭、学校、職場、社会等で楽しく人の道に外れることなく生きるために創られたものであり、後者は、人の心の奥底に神によって刻みつけられた掟です。人は良心によってこの掟を悟り、把握できるものです。聖書によれば、遠い昔天地並びに人類の創造者である神がイスラエルのシナイ山で預言者モーセに二枚の石板に刻んで授けた十の掟(十戒)として実定化されたことが分かります。この十戒の掟を生活の流れのなかで心から守って生きることににより、神、自然、人、物等との正しい関わり方を生涯学習するところに家庭、社会、職場の秩序が平和裡に保たれて行くことと思ひます。

唯一の神を大切にすること、父母を大切にすること、物を大切にすること、「いのち」を大切にすること、人権及び所有権を尊重すること、性の秩序をお互いに尊重すること等を守り合うことは、天地創造の世紀も現代も未来も不変の掟(法)であることに目覚め、目の欲、肉の欲、生活の驕り(おごり)から生じる誘惑に負けないよう祈りつつ努力いたしましょう。

人にとって、とても大切なことは、優先順位を間違わずに生活することです。法は守っても形だけで心から守ってなければ神の祝福はいただけないことに注意しなければなりません。故ヨハネ・パウロ2世<ローマ教皇>が来日した時仰せられたことを紹介させていただきます。「物より心を、技術より倫理を、物質文明より精神文明を、精神文明より愛の文明を優先することが、21世紀に求められています」と力説されたことは傾聴に値します。このことは、すべての人間的行為は、倫理基準に基づいていなければならないことを教示された言葉であるということです。私達がルールや約束事を互いに守り合う時、心にとめておきたい言葉ではないでしょうか。

ルールや約束事を守っても心の中で舌をだしたり、素直な姿勢が乏しければ、神の前に合格しないのです。聖書の民のイスラエル人たちが律法を守っていたけれどもイエスからお叱りを頂戴したことが聖書に記録されています。イエスは「わたしは律法を廃止するためではなく完成するために来た。」「あなた方は御椀の外側はきれいに洗うが内側は洗わない」、「あなたがたも聞いているとおりに姦淫するなど命じられているが、みだらな思いで他人の妻を見るものは誰でも、既に心の中でその女を犯したのである。」イエスの言葉には威厳があり、真の罪とは何かを人類にメッセージしていることに自重自戒しながら清き自分を新しい供え物として神に奉獻しましょう。

子どもとの約束を守るためにも、神の喜ばれる心の清さを持って果たすことができるよう精進しましょう。神が見ていることは、外面だけでなく、内面に重さを置いてご覧になっていることにベストを尽くす7月の日々でありますよう祈念します。守らされている自分から、守る喜びを感じる自分に少しでも近づき変身されることを祈ります。子どもたちの心にルールとタブー(禁止事項)の存在を呼掛け、共に守り合って家族の絆を深めてほしいものです。

ルールやモラルに対する人間の姿勢が一般的に低下している今、親の膝元で『十戒』を学び人間性の基本をしっかりと身に付けるように刷新が求められています。『十戒は古くて新しい掟、いつまでも人にこころを規制する最低のきまりです。物質文明の豊かさが愛の文明によって浄化され、見直されることによって地球はもっと住みよくなることでしょう。『誰が見ていなくても神が見ているという良心の声に従う人間性はルール違反しないでしょう。暴走族やタバコのポイ捨てや、運転しながら携帯を操作する者、酒気帯運転等、はたまた機器を使った犯罪、無言電話なども社会の秩序を乱す病原菌以外の何物でもありません。倫理を無視した社会には平和は訪れないでしょう。すべての掟は、愛と倫理に基づいて作られ且つ実践されなければならない。

掟を守るものは、愛に生きる者! 愛はすべての徳の王! モーセの十戒を心の軸として7月のテーマに力を尽くしてほしいものです。

- | | | |
|---------------|----------|--------------|
| ① 唯一の神を父として礼拝 | ② 神の名を尊重 | ③ 安息日の尊厳 |
| ④ 父母を敬う | ⑤ 命を大切に | ⑥ 性の正しい利用 |
| ⑦ 物を大切に | ⑧ 嘘偽りの禁止 | ⑨ 他人の妻と正しい関係 |
| ⑩ 所有権の尊厳 | | |

十戒の掟は愛によって完成されるとイエスは揭示された!

愛は、完徳の鑑(かがみ)なり!

カトリック古川教会
司 祭 川 井 啓



① 子ども達が楽しみにしていた水遊び、プール遊びが始まります!!

体調が悪い、皮膚に炎症がある等ありましたら、登園時に知らせて下さい。

お願いします!

② 保育園でお貸した衣類は、別にビニール袋に入れて、保育士に手渡しして頂

くようにお願いします!